

# 樹木の役割を学ぼう

身近な校庭の木を題材に、樹木の特徴を観察する中で、生物に必要な酸素を光合成により供給してくれ、地球温暖化防止などにも役立つことを学びます。

対象（学年）：小学生  
人数：クラス単位  
実施場所：教室、屋外  
所要時間：1 時限

## 内容

1. 普段なにげなく見ている校庭の樹木を題材に、校庭のシンボルツリーを選んで、児童たちに関心を持ってもらうプログラムです。事前に学校側と環境出前授業のスタッフで打ち合わせを行います。  
そして、決めた樹木の名前と特徴を調べて、表示プレートを作成します。その時にタブレットで詳しいことを調べられるように、QRコードも作成して付けるようにします。
2. 児童たちには、校庭の木の「名前と気づいた感想」を記入するシートを渡し、事前に準備した校庭の木のサイトマップに沿って観察しながら、四季を通じて変化する樹木に興味を持ってもらいます。  
その中で、樹木は四季を通じて気持ちを和ませてくれることや、太陽の光を浴びて光合成で、空気中の二酸化炭素を吸収し、生物に必要な酸素を出してくれる大切な役割があることを学びます。
3. 最後のまとめとして、学校の樹木を大切にすることは「地球温暖化防止」や、樹木は生物の生息に欠かせないものであり「生物多様性」にも役立っていることを学びます。（枚方市の環境副読本の内容と整合している）  
なお、このプログラムは「SDGs」の学習にも繋がると共にタブレットを使う学習のため、他の教科と組み合わせることで総合的な学習にも活用が出来ます。

講師 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議  
連絡先 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議  
TEL 072-847-2286 FAX 072-807-7873  
E-Mail jimukyoku@hirakata-kankyou.net

